



# LUCKY

2012.2

第42期 報告書

平成23年3月1日から平成24年2月29日

LUCKY

北雄ラッキー株式会社

JASDAQ:2747

## 株主の皆様へ

ごあいさつ

北雄ラッキー株式会社  
代表取締役社長

川端 敏



株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼を申し上げます。

また、このたびの東日本大震災によって被災された皆様、また関係者の皆様に、改めて心よりお見舞いを申し上げますとともに、一日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。

当社は創業以来、一貫して地域のお客様に愛されるお店づくりをめざし、皆様の食卓をより美味しく、より豊かに、より健康にという理念のもと今日まで歩んでまいりました。これはひとえにお客様をはじめとして、多くの株主様、お取引様に支えられたお陰であります。改めて深く感謝申し上げます。

昨年を振り返りますと、東日本大震災による被害は日本全体に深刻な影響を及ぼし、環境被害に伴う食品安全性の問題、生産拠点の再考、エネルギー政策全体の見直し等々、日本の産業構造をも変革しかねない状況であります。一方、欧州債務危機、原油の高騰、円高、デフレ、

年金・増税問題など様々な難問が山積されており、景気も非常に先行き不透明な状況であり、家計の節約志向はより強くなると考えられますが、スーパーマーケット業界におきましては、お客様の節約志向の強まりとともに内食需要の増加が期待され、逆にチャンスでもあるのではないかと考えております。

昨年度は震災直後の日用品の需要等もありましたが、当社といたしましては7年振りの増収・増益となりました。今年度におきましても、当社は、価格志向ではなく価値志向・品質志向を更に進化させ、「健康」「安全」「美味しさ」と地域の食文化や地産地消を取込んだ「意味ある品揃え」に取組みお客様からの評価と信頼を得てまいります。

2期連続の増収・増益を目標とし、役職者一同全力で取組んでまいりますので、株主の皆様におかれましては、今後とも変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

その後、一層のチェーン展開を図り、石狩市、小樽市、道東の美幌町・遠軽町、道央圏の千歳市・栗山町・長沼町と規模を拡大し、更に道東地区のドミナント化を図るため網走市、紋別市へ進出、平成17年10月には道北の稚内市、平成20年9月には岩内郡岩内町、平成23年11月には函館市へと営業エリアを広げ、平成24年2月末現在34店舗を展開しております。今後も、企業理念である「北雄ラッキーは、日本一質の高いスーパーマーケットをめざします。」を掲げ、お客さまに感動を与えるサービスとともにニーズの変化を敏感に捉え、一歩先を行くスーパーマーケットの創造に努力を続けていきます。

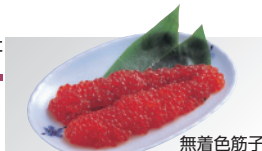
## 「ナチュラルラッキー& テイスティラッキー」 ラッキーらしさの商品コンセプト

お客様にとって最大の関心事である「食」の「健康と安心」の面において、当社が自信を持っておすすめしているのが「ナチュラルラッキー」の商品コンセプトです。お客様の健康増進や病気予防に役立つよう、オーガニック、特別栽培農産物、特定保健用食品などを展開しております。もうひとつの商品コンセプトである「テイスティラッキー」は、「おいしさ」と「品質」で、家族が揃うお祝いの日や誕生日などで、みんなに満足していただけるよう、セレクトされた逸品であります。

健康で安心な毎日の食生活のために  
**ナチュラルラッキー**



新篠津産  
特別栽培  
玉ねぎ



無着色筋子



山中クリーンポーク

おいしいものをどんどん食卓に。  
**テイスティラッキー**



ラッキー特製  
味付ラムモモ  
ジンギスカン



マルマミケ日  
みかん



ホテルブレッド

## 近郊野菜の取り組み

当社では、平成18年6月から札幌市内の一部店舗、空知地区、網走地区、稚内地区の店舗を始めとして、近郊農家から直送の野菜販売を行っております。アスパラ・とうもろこし・レタス・ブロッコリー・トマトなど、夏場の野菜は特に新鮮でおいしいと、お客様から評判をいただいております。今後も積極的に北海道内の地元農産物を消費者にお届けする役割をはたしてまいります。





## 情報紙

### 「週刊クックラック」の発刊



旬の「食材」や「行事」を  
テーマとして、豊富な  
レシピを提供します。



毎週金曜日に発行している「週刊クックラック」では、忙しくて時間の足りない主婦の皆様の役に立つように、季節を感じられる旬の食材を使ったレシピや、一週間の献立作りの手助けになるような時短・簡単クッキングメニューを曜日毎に紹介しております。お客様の毎日のクッキング(Cook)をもっと楽しく、もっと楽(Luck)に、私たちLUCKYがお手伝いします。

## 最優秀チームワーク賞受賞!!



平成23年7月28日(木)札幌パークホテルにて、道内スーパー8社のレジ担当者が接客技術を競う、第27回全道チェッカー競技会(北海道スーパーマーケット協会主催)が開催されました。

当社からは、新人の部に3名・先輩の部に5名が参加し、それぞれの部における各個人賞の他に企業としても”最優秀チームワーク賞”を受賞いたしました。

この受賞を糧として日々の接客技術の向上に努め、お客様が毎日お買い物をしたくなるよう、優しい、温かみのある接客を目指してまいります。



## ひとみ店の新規開店

平成23年11月12日に、函館市人見町に「ラッキー衣料館ひとみ店」をオープンいたしました。ひとみ店は函館駅の東に位置し、古い町並みの続く閑静な住宅街にある人見ショッピングセンターの一角を担っております。道南地区へは、初めての出店となりますが、地域のお客様に長く愛される店づくりをめざしてまいります。なお、年内には、函館市内に更にもう一店舗の出店を予定しております。



## 西野1号店&清田店の改装

平成23年4月に札幌市西区の西野1号店、同年5月に同市清田区の清田店の改装を行ないました。「地域のお役立ちストア」をスローガンに掲げ、より地域との密着度を高めてまいります。



## 北雄ラッキーの環境方針

北雄ラッキーは「今も未来も地域のお客様と共にあり続けたい」という願いのもとに、地球温暖化防止（二酸化炭素の削減）をはじめとする環境問題に積極的に取り組み、従業員一人ひとりが身近に出来ることから、着実に実践し積み重ねることで、地域のスーパーマーケットとして、地球や人にやさしい環境づくりに貢献してまいります。

## インバーターの設置で省エネ運転

インバーターとは、冷蔵庫など電気製品のモーターの回転数をコントロールすることで、省エネ運転を可能にする“司令塔”のような役割を果たす装置であります。蛍光灯においても設置することで、より低い消費電力でも周波数を

高めることによって明るさも変わらずチラツキも抑制し、結果として約30%の省エネにつながるとされています。

当社では、13店舗において冷凍・冷蔵設備及び照明設備へのインバーター装置の設置を完了しております。



## 身近なエコ活動



資源化ゴミ（紙くず、軽プラスチック、ラップなど）は、分別回収して圧縮機にかけて固形燃料用にリサイクルしています。



「アースデー（地球の日）」にちなんで毎年4月22日には、店舗周辺及び道路などのゴミ拾い活動に取り組んでいます。

※環境問題への取り組みについて詳しくは、当社ホームページの環境レポートをご覧ください。



# 当期の概況

## ●営業の状況

当事業年度におけるわが国経済は、景気回復基調のなかで発生した平成23年3月11日の東日本大震災による経済の混乱からは脱却しつつありますが、電力コストの上昇、円高の定着やデフレの長期化、タイの洪水被害による悪影響、世界経済を牽引している中国経済成長の減速及び欧州の金融危機、そしてイラン情勢の緊迫化を受けた原油価格の高騰など、日本経済を取り巻く環境は全く予断を許さない状況であります。

このような国内・国際情勢のなか、北海道の景気におきましては、設備投資や住宅投資の動きは持ち直しがみられるものの、期待される公共投資は減少傾向にあるほか、個人消費や観光は一部を除いて持ち直しの動きが鈍化し、依然として所得・雇用環境の改善に遅れが目立つ状況であります。

スーパーマーケット業界におきましては、震災発生後の生活必需品の需要が落ち着くとともに、お客様の不要不急の支出を控える節約傾向・低価格志向は強くなり、一方で放射能汚染の影響などから食料品に対する安心・安全志向も高まり、お客様の消費動向はより厳格なものになってきております。また業種の垣根を越えた企業間競争の激化や、合併・経営統合の動きが加速するなど、依然として厳しい経営環境になっております。

このような状況のなか、当社におきましては、お客様の商品に対する安心・安全性への意識の高まりに対応するため、安心・安全の確認に細心の注意を払うように心掛けております。

当社「スーパーマーケット事業部門」では、こうしたお客様の節約志

向や競合他社との厳しい低価格競争に対処しつつも、「商品」に対する切り口を「低価格」という面だけではなく、「鮮度」「品質」「おいしさ」「健康志向」の面を重要視して、集客力の向上及び売上高の確保に努めてまいりました。

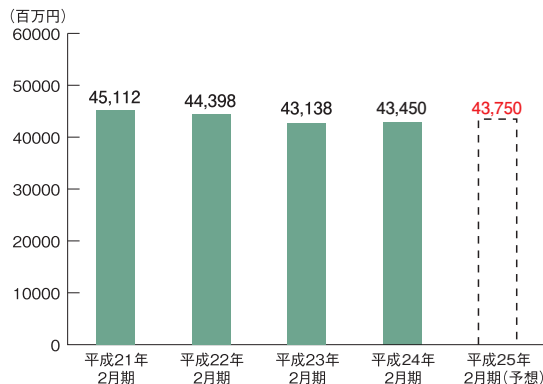
営業面におきましては、原材料の値上げや厳しい価格競争の続くなか「鮮度」と「品質」をより重視した販売政策、及び少子高齢化等により多様化する消費スタイルや地域需要にしっかりと対応する品揃え政策を継続してまいりました。

環境面におきましては、省エネルギー及び低コスト経営に向けて「電気量節減に関してのガイドライン」を設けて、デマンド警報機の有効利用及びより具体的な節減手順により、今迄以上の節電に努めてまいりました。

これらの結果、「スーパーマーケット事業部門」の売上高は43,183百万円（前事業年度比100.8%）、営業利益は512百万円（前事業年度比160.5%）となりました。「その他の事業部門」につきましては、売上高は266百万円（前事業年度比91.9%）、営業損失1百万円（前事業年度は営業損失1百万円）となりました。

両事業部門を合わせまして、当事業年度の、売上高は43,450百万円（前事業年度比100.7%）、営業利益は510百万円（前事業年度比160.7%）、経常利益は408百万円（前事業年度比201.1%）、当期純利益は、法定実効税率の変更に伴う繰延税金資産減額の影響などがあつたことにより152百万円（前事業年度比68.6%）となりました。

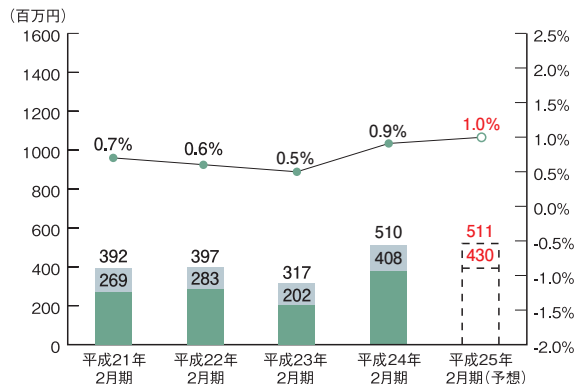
売上高の推移と予想（21年2月期～24年2月期実績と25年2月期予想）



営業利益の推移と予想（21年2月期～24年2月期実績と25年2月期予想）

経常利益の推移と予想（21年2月期～24年2月期実績と25年2月期予想）

売上高対経常利益率





## ●次期の見通し

今後の見通しにつきましては、震災復興需要による景気押し上げが期待される一方で、欧州債務問題の再燃懸念や原油価格の高騰などの世界経済に暗い影を落とすような不安要素もあり、日本経済も景気浮上のきっかけを失いかねない状況であります。スーパーマーケット業界におきましては、増税、年金問題、原油価格の高騰、雇用環境など、不安材料が多く、生活防衛を意識した消費節約傾向が続き、厳しい経営環境が続くものと思われませんが、反面、節約志向を反映し内食傾向が強まっており、チャンスと捉えることができます。

このような状況のなか、当社は販売政策の面におきましては、商圏エリア内での、「鮮度」「品質」「品揃え」「サービス」で地域1番を目指すことに取組むと共に、より多くのお客様とコミュニケーションを図ることで、お客様の目線を常に意識したサービスを心掛けてまいります。ますます低価格競争が活発化するものと考えられますが、当社は「低価格競争」よりむしろ「鮮度」「品質」「おいしさ」において、お客様からの評価や信頼を得ることを重視してまいります。

商品政策の面におきましては、当社が推奨するナチュラルラッキー（オーガニックなどの健康と安心に特化したアイテム）とテイスターラッキー（おいしさと品質に特化したアイテム）の商品コンセプトを反映させた意味ある品揃えと、何よりも「鮮度」について地域一番を目指してまいります。また地域に根ざした商品政策の遂行、近隣野菜コーナーの充実、地域漁港とのタイアップ企画などを強化し、変化する消費スタイルにも柔軟に対応してまいります。

店舗運営の面におきましては、最重要課題として在庫の適正化により、鮮度の向上やロスの減少による利益率の改善を図ること及び作業内容の見直しと適正な人員配置により生産性の改善に努めてまいります。

販売促進の面におきましては、チラシ内容と回数の見直しを図る一方で、全店において効果の高い新たな販売促進手法の実施やポイントサービス内容の見直しなどによりコストの削減を図ってまいります。

管理面におきましては、コンプライアンス意識の徹底やリスク管理システムの精度向上を図り、今以上に適時開示及び財務報告が適正かつ迅速に実行作成されるように努めてまいります。

環境問題の面におきましては、今後の新規・改装店舗では、積極的にオール電化店舗を導入し、二酸化炭素排出の削減に努めてまいります。

設備投資の面におきましては、8月に衣料専門店を北海道函館市に新規開店する予定であり、改装店舗といたしましては、3月に新琴似四番通店、4月に美幌店を実施し、6月には発寒店の改装を計画しております。

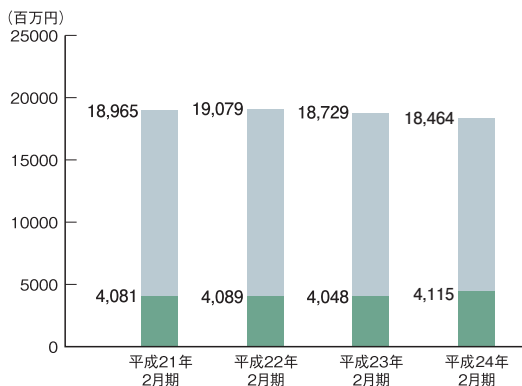
当社はこうした数ある課題を着実に実施していくことにより、厳しい経営環境にあるなか競争力のある企業、お客様から愛される企業の構築に向けて取組んでいられる所存であります。

株主の皆様におかれましては、引き続き変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

次期の業績予想につきましては、売上高は43,750百万円（当事業年度比100.7%）、営業利益は511百万円（当事業年度比100.1%）、経常利益は430百万円（当事業年度比105.4%）、当期純利益は190百万円（当事業年度比124.7%）と見込んでおります。

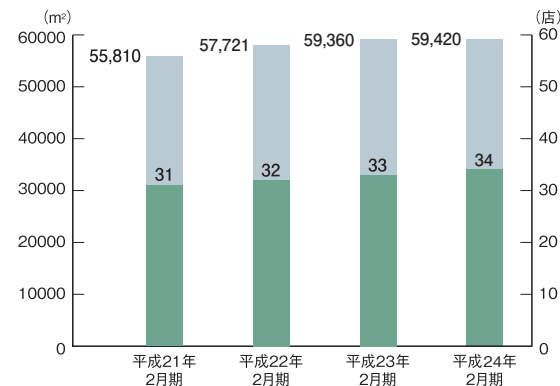
■ 総資産の推移（21年2月期～24年2月期実績 4期分）

■ 純資産の推移（21年2月期～24年2月期実績 4期分）



■ 期中平均売場面積の推移

■ 期末店舗数の推移



財務諸表

●貸借対照表

単位:千円

| 科 目         | 前 期              | 当 期              |
|-------------|------------------|------------------|
|             | 平成23年2月28日<br>現在 | 平成24年2月29日<br>現在 |
| 〈資産の部〉      |                  |                  |
| 流 動 資 産     | 3,672,279        | 3,994,759        |
| 現金及び預金      | 1,101,171        | 1,429,763        |
| 売 掛 金       | 266,060          | 245,826          |
| 商 品 及 び 製 品 | 1,692,034        | 1,634,818        |
| 原材料及び貯蔵品    | 41,766           | 71,564           |
| 前 払 費 用     | 121,851          | 121,948          |
| 繰延税金資産      | 64,498           | 86,997           |
| 未 収 入 金     | 375,403          | 393,742          |
| そ の 他       | 10,031           | 10,637           |
| 貸 倒 引 当 金   | △540             | △540             |
| 固 定 資 産     | 15,027,738       | 14,818,221       |
| 有 形 固 定 資 産 | 12,000,866       | 11,893,809       |
| 建 物         | 3,598,293        | 3,496,083        |
| 構 築 物       | 163,473          | 145,559          |
| 車 両 運 搬 具   | 492              | 653              |
| 工具、器具及び備品   | 41,790           | 35,683           |
| 土 地         | 7,636,809        | 7,636,809        |
| リ ー ス 資 産   | 557,979          | 576,992          |
| 建 設 仮 勘 定   | 2,026            | 2,026            |
| 無 形 固 定 資 産 | 20,749           | 22,080           |
| ソフトウェア      | 2,520            | 3,851            |
| 電 話 加 入 権   | 18,228           | 18,228           |
| 投資その他の資産    | 3,006,122        | 2,902,332        |
| 投資有価証券      | 203,044          | 171,645          |
| 繰延税金資産      | 452,995          | 438,339          |
| 差入保証金       | 2,241,281        | 2,165,132        |
| そ の 他       | 108,801          | 127,213          |
| 繰 延 資 産     | 29,040           | 33,654           |
| 社 債 発 行 費   | 29,040           | 33,654           |
| 資 産 合 計     | 18,729,058       | 18,846,636       |

単位:千円

| 科 目             | 前 期              | 当 期              |
|-----------------|------------------|------------------|
|                 | 平成23年2月28日<br>現在 | 平成24年2月29日<br>現在 |
| 〈負債の部〉          |                  |                  |
| 流 動 負 債         | 8,724,587        | 9,049,364        |
| 買 掛 金           | 2,717,398        | 2,682,188        |
| 1年内償還予定の社債      | 100,000          | 600,000          |
| 短 期 借 入 金       | 4,164,049        | 3,577,662        |
| 1年内返済予定の長期借入金   | 749,186          | 881,815          |
| リ ー ス 債 務       | 196,295          | 223,205          |
| 未 払 金           | 286,003          | 325,399          |
| 未 払 費 用         | 250,037          | 263,432          |
| 未 払 法 人 税 等     | 60,378           | 186,077          |
| 未 払 消 費 税 等     | 7,065            | 85,133           |
| 前 受 金           | 19,510           | 20,501           |
| 預 り 金           | 82,615           | 81,555           |
| 賞 与 引 当 金       | 92,045           | 122,392          |
| 固 定 負 債         | 5,956,431        | 5,681,294        |
| 社 債             | 1,350,000        | 1,050,000        |
| 長 期 借 入 金       | 2,743,500        | 2,715,499        |
| リ ー ス 債 務       | 397,668          | 399,804          |
| 退職給付引当金         | 841,526          | 873,444          |
| 役員退職慰労引当金       | 231,881          | 236,513          |
| 長期預り保証金         | 390,932          | 361,201          |
| 資産除去債務          | －                | 44,578           |
| そ の 他           | 922              | 252              |
| 負 債 合 計         | 14,681,019       | 14,730,659       |
| 〈純資産の部〉         |                  |                  |
| 株 主 資 本         | 4,042,412        | 4,131,567        |
| 資 本 金           | 641,808          | 641,808          |
| 資 本 剰 余 金       | 351,215          | 351,215          |
| 利 益 剰 余 金       | 3,049,389        | 3,138,544        |
| 評 価 ・ 換 算 差 額 等 | 5,626            | △15,590          |
| その他有価証券評価差額金    | 5,626            | △15,590          |
| 純 資 産 合 計       | 4,048,039        | 4,115,976        |
| 負 債 純 資 産 合 計   | 18,729,058       | 18,846,636       |

●損益計算書

単位:千円

| 科 目           | 前 期                       | 当 期                       |
|---------------|---------------------------|---------------------------|
|               | 平成22年3月 1日～<br>平成23年2月28日 | 平成23年3月 1日～<br>平成24年2月29日 |
| 売 上 高         | 43,138,575                | 43,450,114                |
| 売 上 原 価       | 32,594,183                | 32,703,573                |
| 売 上 総 利 益     | 10,544,392                | 10,746,541                |
| 営 業 収 入       | 1,111,165                 | 1,118,346                 |
| 営 業 総 利 益     | 11,655,557                | 11,864,888                |
| 販売費及び一般管理費    | 11,337,766                | 11,354,270                |
| 営 業 利 益       | 317,791                   | 510,617                   |
| 営 業 外 収 益     | 86,484                    | 89,595                    |
| 営 業 外 費 用     | 201,408                   | 192,154                   |
| 経 常 利 益       | 202,867                   | 408,057                   |
| 特 別 利 益       | 153,450                   | 3,735                     |
| 特 別 損 失       | 80,719                    | 59,659                    |
| 税引前当期純利益      | 275,598                   | 352,133                   |
| 法人税、住民税及び事業税  | 51,779                    | 197,702                   |
| 法 人 税 等 調 整 額 | 1,647                     | 2,044                     |
| 当 期 純 利 益     | 222,171                   | 152,386                   |

●剰余金処分

期末配当に関する事項

- (1)配当財産の種類 金銭といたします。
- (2)配当財産の割当に関する事項及びその総額  
普通株式 1株につき金10円 配当総額 6,323,201円
- (3)剰余金の配当が効力を生じる日 平成24年5月25日

(参考)

|                     |       |       |      |       |       |
|---------------------|-------|-------|------|-------|-------|
| 1. 当期における配当性向 41.5% | 19年度  | 20年度  | 21年度 | 22年度  | 23年度  |
| 2. 1株当たり配当金の推移(期末時) | 10.0円 | 10.0円 | 8.0円 | 10.0円 | 10.0円 |

●キャッシュ・フロー計算書

単位:千円

| 科 目                 | 当 期                  |
|---------------------|----------------------|
|                     | 平成23年3月1日～平成24年2月29日 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー    | 1,044,012            |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー    | △476,326             |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー    | △569,094             |
| 現金及び現金同等物の増減額(減少:△) | △1,407               |
| 現金及び現金同等物の期首残高      | 711,171              |
| 現金及び現金同等物の期末残高      | 709,763              |

●株主資本等変動計算書

当事業年度(平成23年3月1日～平成24年2月29日)

単位:千円

|                             | 株主資本    |           |                  |                 |           |             |                 |            | 評価・換算差額等             |                    | 純資産<br>合計 |
|-----------------------------|---------|-----------|------------------|-----------------|-----------|-------------|-----------------|------------|----------------------|--------------------|-----------|
|                             | 資本金     | 資本剰余金     |                  |                 | 利益剰余金     |             |                 | 株主資本<br>合計 | その他<br>有価証券<br>評価差額金 | 評価・換算<br>差額等<br>合計 |           |
|                             |         | 資本<br>準備金 | その他<br>資本<br>剰余金 | 資本<br>剰余金<br>合計 | その他利益剰余金  |             | 利益<br>剰余金<br>合計 |            |                      |                    |           |
|                             |         |           |                  |                 | 別途<br>積立金 | 繰越利益<br>剰余金 |                 |            |                      |                    |           |
| 平成23年2月28日残高                | 641,808 | 161,000   | 190,215          | 351,215         | 2,465,000 | 584,389     | 3,049,389       | 4,042,412  | 5,626                | 5,626              | 4,048,039 |
| 事業年度中の変動額                   |         |           |                  |                 |           |             |                 |            |                      |                    |           |
| 剰余金の配当                      |         |           |                  |                 |           | △63,232     | △63,232         | △63,232    |                      |                    | △63,232   |
| 当期純利益                       |         |           |                  |                 |           | 152,386     | 152,386         | 152,386    |                      |                    | 152,386   |
| 株主資本以外の項目の<br>事業年度中の変動額(純額) |         |           |                  |                 |           |             |                 |            | △21,217              | △21,217            | △21,217   |
| 事業年度中の変動額合計                 | —       | —         | —                | —               | —         | 89,154      | 89,154          | 89,154     | △21,217              | △21,217            | 67,937    |
| 平成24年2月29日残高                | 641,808 | 161,000   | 190,215          | 351,215         | 2,465,000 | 673,544     | 3,138,544       | 4,131,567  | △15,590              | △15,590            | 4,115,976 |



# 売上・設備の状況

## ●商品別売上高の推移と直近構成比の状況

### ○売上高の概要

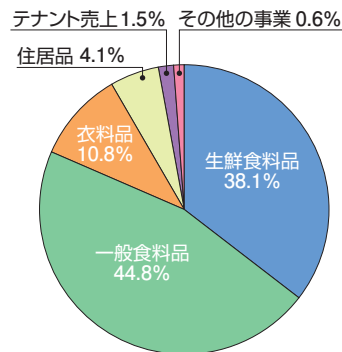
当事業年度の売上高は、前事業年度に比較し 0.7%増の 43,450 百万円となり、7期振りの増収となっております。  
これは、震災の影響による原料不足などから相場高が続いたこともあります。強化部門である生鮮各部門が安定して  
昨年比 101%台で推移したこと、また内食需要が高まったことにより来店客数および客単価が改善され、  
2店の改装店舗を含めた既存店売上が、前事業年度比 100.1%と堅調であったことなどによるものであります。

### 商品別売上高

単位：百万円

|               |        | 22年2月期 | 23年2月期 |        | 24年2月期 |        | 25年2月期(予想) |        |
|---------------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|------------|--------|
|               |        |        |        | 前期比(%) |        | 前期比(%) |            | 前期比(%) |
| スーパーマーケット事業部門 |        | 44,085 | 42,848 | 97.2   | 43,183 | 100.8  | 43,500     | 100.7  |
|               | 生鮮食料品  | 16,702 | 16,343 | 97.8   | 16,558 | 101.3  | 16,580     | 100.1  |
|               | 一般食料品  | 20,085 | 19,418 | 96.7   | 19,463 | 100.2  | 19,550     | 100.4  |
|               | 衣料品    | 4,763  | 4,607  | 96.7   | 4,713  | 102.3  | 4,900      | 104.0  |
|               | 住居品    | 1,787  | 1,781  | 99.7   | 1,796  | 100.8  | 1,770      | 98.6   |
|               | テナント売上 | 746    | 698    | 93.5   | 650    | 93.2   | 700        | 107.7  |
| その他の事業部門      |        | 313    | 290    | 92.7   | 266    | 91.9   | 250        | 94.0   |
| 合 計           |        | 44,398 | 43,138 | 97.2   | 43,450 | 100.7  | 43,750     | 100.7  |

### 24年2月期 売上構成比



## ●設備投資等の概要

当事業年度におきましては、平成23年11月に函館市において衣料専門のひとみ店を新規開店いたしました。  
また、同年4月には札幌市西区の西野1号店の店舗改装を、同年5月には札幌市清田区の清田店の改装を  
行っております。当事業年度の設備投資の総額は、434百万円であります。

### 設備投資の推移

単位：百万円

|               | 22年2月期 | 23年2月期 |        | 24年2月期 |        | 25年2月期(予想) |        |
|---------------|--------|--------|--------|--------|--------|------------|--------|
|               |        |        | 前期比(%) |        | 前期比(%) |            | 前期比(%) |
| 投資金額合計        | 209    | 1,164  | 555.5  | 419    | 36.0   | 471        | 112.4  |
| 新店投資          | 25     | —      | —      | 68     | —      | 47         | 69.1   |
| 既 存 店<br>改装投資 | 37     | 274    | 722.2  | 147    | 53.9   | 279        | 189.5  |
| そ の 他         | 146    | 890    | 609.8  | 202    | 22.7   | 143        | 70.9   |
| 減価償却費         | 309    | 305    | 98.8   | 291    | 95.2   | 307        | 105.4  |
| リース償却費        | 213    | 224    | 104.8  | 208    | 93.2   | 238        | 114.0  |

## ●店舗の状況

### (1) 開店・閉店店舗数及び期中平均売場面積

|             | 19年2月期 | 20年2月期 | 21年2月期 | 22年2月期 | 23年2月期 | 24年2月期 |
|-------------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 開店          |        |        |        |        |        |        |
| 店舗数         | 0      | 1      | 2      | 1      | 1      | 1      |
| 平均売場面積(㎡)   | 0      | 670    | 2,575  | 909    | 1,190  | 711    |
| 閉店          |        |        |        |        |        |        |
| 店舗数         | 2      | 2      | 0      | 0      | 0      | 0      |
| 平均売場面積(㎡)   | 597    | 1,142  | 0      | 0      | 0      | 0      |
| 全店          |        |        |        |        |        |        |
| 店舗数         | 30     | 29     | 31     | 32     | 33     | 34     |
| 期末売場面積(㎡)   | 55,785 | 54,240 | 56,918 | 57,958 | 59,588 | 59,995 |
| 期中平均売場面積(㎡) | 56,439 | 54,322 | 55,810 | 57,721 | 59,360 | 59,420 |

### (2) タイプ別店舗数と期末売場面積

|            | 19年2月期 | 20年2月期 | 21年2月期 | 22年2月期 | 23年2月期 | 24年2月期 |
|------------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 衣料品単独店     |        |        |        |        |        |        |
| 店舗数        | 5      | 5      | 6      | 7      | 7      | 8      |
| 期末売場面積(㎡)  | 3,594  | 3,400  | 4,115  | 5,106  | 5,106  | 5,817  |
| 食料品単独店     |        |        |        |        |        |        |
| 店舗数        | 3      | 3      | 4      | 4      | 4      | 4      |
| 期末売場面積(㎡)  | 2,577  | 2,664  | 4,182  | 4,179  | 4,179  | 4,076  |
| 食料品・衣料品共同店 |        |        |        |        |        |        |
| 店舗数        | 22     | 21     | 21     | 21     | 21     | 21     |
| 期末売場面積(㎡)  | 49,614 | 48,176 | 48,621 | 48,673 | 49,113 | 48,912 |
| その他事業(FC店) |        |        |        |        |        |        |
| 店舗数        | —      | —      | —      | —      | 1      | 1      |
| 期末売場面積(㎡)  | —      | —      | —      | —      | 1,190  | 1,190  |

(注) 23年2月期からツタヤ篠路店が店舗として加わっております。

# 会社概要

|      |                                                            |
|------|------------------------------------------------------------|
| 設立   | 1982(昭和57)年5月10日                                           |
| 本社   | 〒060-0011<br>札幌市中央区北11条西19丁目36-35                          |
| 資本金  | 6億4180万円                                                   |
| 代表者  | 代表取締役社長 川端 敏                                               |
| 従業員数 | 正社員 518名<br>パートタイマー 1,570名<br>(1人8時間換算 月平均)<br>平成24年2月末日現在 |
| 営業品目 | 生鮮食料品・加工食品・菓子・衣料品・<br>日用雑貨・米・酒                             |

|           |                    |
|-----------|--------------------|
| 代表取締役会長   | 桐 生 泰 夫            |
| 代表取締役社長   | 川 端 敏              |
| 専 務 取 締 役 | 後藤 扶美彰 (管理本部長)     |
| 常 務 取 締 役 | 桐 生 宇 優 (営業本部長)    |
| 取 締 役     | 山 川 浩 文 (グロサリー部長)  |
| 取 締 役     | 千 葉 敬 一 (情報システム部長) |
| 取 締 役     | 山 本 光 治 (生鮮部長)     |
| 取 締 役     | 堀 田 史 朗 (販売部長)     |
| 常 勤 監 査 役 | 田 井 中 廣 治          |
| 監 査 役     | 堀 勝 彦              |
| 監 査 役     | 宮 脇 憲 二            |
| 監 査 役     | 伊 藤 光 男            |

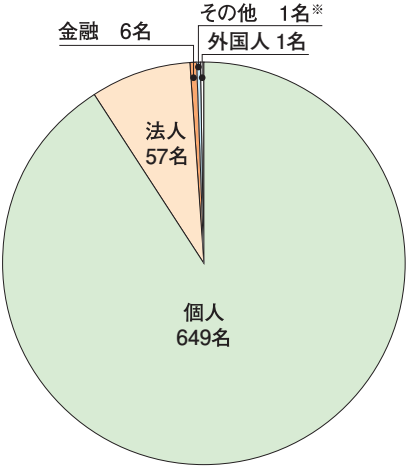
# 沿 革

|          |                                                                 |        |                                                         |
|----------|-----------------------------------------------------------------|--------|---------------------------------------------------------|
| 昭和46年04月 | 食品の小売及び卸売を目的として、札幌市手稲西野(現 西区西野)に資本金6,000千円にて、株式会社オレンジチェーンを設立。   | 8年03月  | 本格的にインスタペーカリーを手かけ、以後各店へ導入。                              |
| 48年04月   | 本社を札幌市西区山の手1条7丁目に移転。                                            | 9年03月  | 山の手店を増床のうえ大幅改裝し、新たなプロトタイプの店舗づくりに着手。                     |
| 49年05月   | 商号を株式会社山の手ストアに変更し、本格的にスーパーマーケットのチェーン展開を開始。                      | 10年03月 | 夕張郡栗山町に栗山店を開店。                                          |
| 50年10月   | 札幌市東区に北49条店を開店。                                                 | 12年03月 | 網走市駒場にシティあばしり店を開店。道東地区3店舗となる。同月、食品の安全性検査のため独自の商品検査室を設置。 |
| 51年10月   | 札幌市豊平区(現 清田区)に清田店を開店。                                           | 13年03月 | 札幌市北区に新琴似四番通店を開店。                                       |
| 52年12月   | 札幌市北区に篠路店を開店。同時にEOS(補充発注システム)を導入。                               | 14年03月 | 中川郡幕別町に札幌内店を開店。                                         |
| 57年05月   | 株式会社まるせんととの合併と同時に、北雄ラッキー株式会社に商号変更。同時に、本社を札幌市中央区大通西23丁目291-1に移転。 | 14年04月 | 札幌市手稲区に星置駅前店を開店。                                        |
| 58年07月   | 石狩町(現 石狩市)花川に花川店を開店。                                            | 14年10月 | 日本証券協会に株式を店頭登録。(現在は大阪証券取引所 JASDAQ(スタンダード)に上場)           |
| 59年06月   | 本社を札幌市中央区宮の森3条1丁目1-25に移転。                                       | 15年04月 | 夕張郡長沼町に長沼店を開店。                                          |
| 63年07月   | 小樽市新光町に朝里店を開店。小樽へ進出。                                            | 16年05月 | 精肉・鮮魚商品を店舗へ供給する生鮮センターを稼動。                               |
| 平成元年07月  | 本社を札幌市中央区北11条西19丁目36-35に移転。                                     | 16年06月 | 紋別市渚滑にシティもんべつ店を開店。                                      |
| 2年03月    | 同月、札幌市南区に川沿店を開店。                                                |        | 道東地区4店舗となる。                                             |
| 3年10月    | POS(販売時点情報管理)システムを導入。                                           | 17年10月 | 稚内市新光町にシティ稚内店を開店。道北地区へ進出。                               |
| 5年09月    | 石狩町(現 石狩市)花川に花川南店を開店。道東地区へ進出。                                   | 18年03月 | 札幌市中央区に低温物流センターを取得。                                     |
| 6年03月    | 株式会社シティびほろと合併し、シティびほろ店を開店。道東地区へ進出。                              | 19年07月 | 小樽市手宮に手宮店を開店。                                           |
| 6年04月    | 千歳市錦町に千歳錦町店を開店。千歳市へ進出。                                          | 20年06月 | 北広島市に大曲店を開店。                                            |
| 6年11月    | 紋別郡遠軽町にシティえんがる店を開店。道東地区2店舗となる。                                  | 20年09月 | 岩内郡岩内町に岩内店を開店。                                          |
| 7年02月    | 子会社、エル食品株式会社を設立し、食品加工卸売業を開始する。                                  | 21年06月 | 千歳市勇舞に長都店を開店。                                           |
| 7年05月    | 保険部門を独立させ、子会社、株式会社アップルを設立。                                      | 22年03月 | 子会社であるエル食品株式会社及び株式会社アップルの両社を、当社を存続会社として吸収合併する。          |
|          | 札幌市豊平区(現 清田区)に美しが丘店を開店。                                         | 23年11月 | 函館市人見町にひとみ店を開店。                                         |

# 株式の状況(平成24年2月29日現在)JASDAQ:2747

|          |               |
|----------|---------------|
| 発行済株式の総数 | 6,323,201株    |
| 期末株主総数   | 714名(前期比12名増) |

## ●所有者別株主数

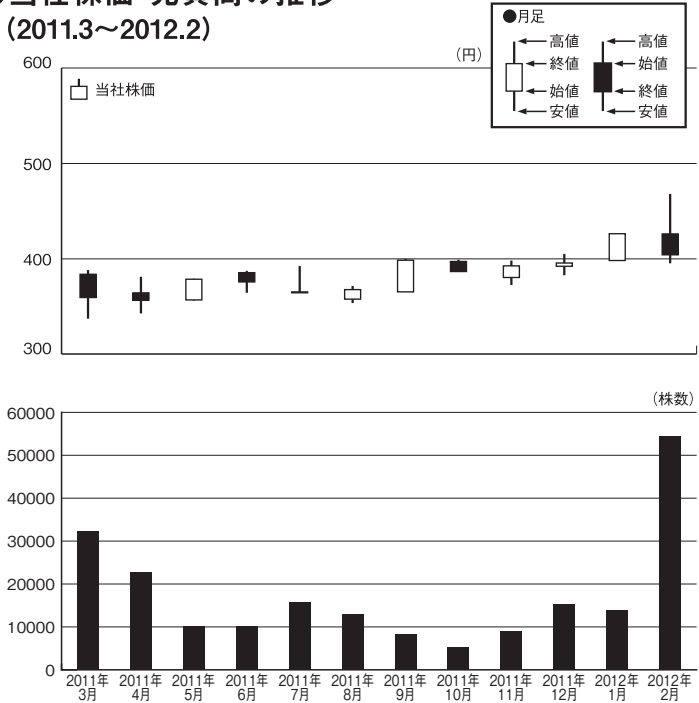


※株式会社証券保管振替機構名義の株式であります。

## ●大株主の状況

| 株主名         | 当社への出資状況  |         |
|-------------|-----------|---------|
|             | 持株数(株)    | 出資比率(%) |
| 桐生泰夫        | 1,139,000 | 18.01   |
| 千葉敬一        | 350,000   | 5.53    |
| 株式会社北洋銀行    | 316,000   | 4.99    |
| 田中嘉久        | 298,000   | 4.71    |
| 堀勝彦         | 240,000   | 3.79    |
| 久保基彦        | 187,000   | 2.95    |
| 有限会社まるせん商事  | 180,000   | 2.84    |
| 北雄ラッキー社員持株会 | 157,000   | 2.48    |
| 株式会社北海道銀行   | 150,000   | 2.37    |
| 千葉サカエ       | 148,000   | 2.34    |

## ●当社株価・売買高の推移(2011.3~2012.2)





# LUCKY

第42期 報告書

|                                      |                                                                        |                                                                                                                                                                |
|--------------------------------------|------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|                                      | 証券会社等に口座をお持ちの場合                                                        | 証券会社等に口座をお持ちでない場合<br>(特別口座の場合)                                                                                                                                 |
| 郵送物送付先                               | お取引の証券会社等になります。                                                        | 〒168-8507<br>東京都杉並区和泉 2-8-4<br>みずほ信託銀行 証券代行部                                                                                                                   |
| 電話お問い合わせ先                            |                                                                        | フリーダイヤル 0120-288-324<br>(土・日・祝日を除く 9:00~17:00)                                                                                                                 |
| 各種手続取扱店<br>(住所変更、株主配当金<br>受取り方法の変更等) |                                                                        | みずほインベスターズ証券<br>本店および全国各支店<br>プラネットブース(みずほ銀行内の店舗)<br>みずほ信託銀行<br>本店および全国各支店                                                                                     |
| 未払配当金のお支払                            | 上記お取扱店に加え、みずほ銀行の本店および全国各支店<br>(みずほインベスターズ証券では取次のみとなります)                |                                                                                                                                                                |
| ご 注 意                                | 支払明細発行については、右の「特別<br>口座の場合」の郵便物送付先・電話お<br>問い合わせ先・各種手続お取次店を<br>ご利用ください。 | 特別口座では、単元未満株式の買取・買増以外の<br>株式売買はできません。証券会社等に口座を開設し、<br>株式の振替手続を行っていただく必要があります。<br>みずほインベスターズ証券で単元未満株式の買増<br>請求手続きをされる場合は、事前にみずほ信託銀行<br>が指定する口座に送金していただく必要があります。 |

また、本報告書に記述するいかなる情報も、当社の株式等の購入や売却を勧誘したり、これらに対する投資をアドバイスする目的で作成されたものではありません。投資に関する決定は、利用者ご自身のご判断において行われるようお願い致します。